

わかもの
こども若者★いけんぷらす
いけんひろば

う そだ
～安心してこどもを産み育てられるために、
どんな社会になってほしいですか？～

ほうこくしりょう
報告資料

れいわ
令和6年2月23日（オンライン・対面開催）
たいめん かいさい

目次

かいさい

- 開催までの流れ

がいよう

- 開催概要

さんかしゃ

- 参加者の意見

たいけん

1. 遊びや体験活動などについて

2. こどもまんなかまちづくりについて

ともばたら ともそだ

3. 共働き・共育てなどについて

ちいき しえん

4. 地域子育て支援、家庭教育支援について

ひんこんたいさく

5. こどもの貧困対策について

かん けいざいてき ふたん けいげん

6. 子育てや教育に関する経済的負担の軽減について

- 参加者アンケート



開催までの流れ（1）

このいけんひろばは、こども家庭庁とともに「こども若者★いけんぷらす」を運営している
「みんなのパートナーぽんぱー」と一緒に、テーマの決定からいけんひろばの開催までをはじめて行
いました♪
また、テーマの設定も「こども若者★いけんぷらす」に登録しているメンバーからアンケートなどを
行い、決めました！

<大まかな流れ>

8月～9月	10月～11月	12月～1月	2月
1. ぷらすメンバーから テーマ募集			
	2. テーマの検討・決定		
月に2回ほど、班会議を行い、 テーマ案や開催時期の検討 を行いました！		3. 参加者募集	
			4. いけんひろば開催

12月ごろから運営事務局に代わって、
ぽんぱーが司会となって班会議の進行を
するようになりました♪

<アンケートについて>

- 1回目のアンケートは、テーマ案を自由記述で募集することにして、8月下旬から9月中旬まで実施しました。
→ 学生が答えやすいように夏休み期間中に始めるよう工夫をしたり、答えやすいアンケートを作るよう工夫しました。
→ その結果、200人程度の方から、テーマ案の募集をいただきました。
- 2回目のアンケートは、集まった多くのテーマの中から、ぷらすメンバーが、いけんひろばを開催したいテーマを選びやすくするために、カテゴリ分けをして、それぞれのカテゴリの中で代表的なテーマをぽんぱーが選び、選択式で実施しました。期間は11月上旬から中旬まで実施しました。
→ その結果、300人程度の方から、アンケートの回答をいただきました。

開催までの流れ（2）

<テーマの決定>

○2回のアンケートの結果をふまえて、...



「安心して子どもを産み育てられるために、
どんな社会になってほしいですか？」
というテーマに決定しました！！

※アンケートの結果に基づき、他のテーマの
いけんひろばも開催する予定です♪

<いけんひろば開催にあたっての工夫>

- ① テーマについて小学生から社会人のぶらすメンバーが参加しやすいように、また政策への反映を行えるよう
「安心して子どもを産み育てられるために、どんな社会になってほしいですか？」というテーマを達成するために、
重要となる事項を、こども大綱の「こども施策に関する重要事項」からぽんぱ一企画班が選びました。

→その結果、「遊びや体験活動などについて」、「こどもまんなかまちづくりについて」、
「共働き・共育てについて」、「地域子育て支援、家庭教育支援について」、
「子どもの貧困対策について」、「子育てや教育に関する経済的負担の軽減について」
の6つを各班で話し合ってもらうことにしました！

- ② 募集する際のチラシを、親しみの持てるようなデザインで作成し、
小学生から社会人まであらゆる年齢層の方が参加したいと思えるよう、周知しました。（右の図のとおり）

⇒様々な工夫を行って開催したいいけんひろばの結果については、次ページからです！！

<募集のちらし（小中学生用）>

いけんひろば もうしこみしめきり
2月2日（金）
18時まで

安心して子どもを産み育てられるために、
どんな社会になってほしいですか？

ぶらすメンバーからていあんのあったテーマについてのいけんひろばをはじめ
てかさいします！！
ぶらすメンバーあてに行ったアンケートのけっかをさんこうに、
"みんなのパートナーぽんぱー"のみなさんと相談してテーマを決めました。
多くのぶらすメンバーのさんかを待っています！！

テーマについて
ぶらすメンバーのみなさんにも意見を
ききながら、2023年12月に「こ
ども大綱」が完成しました。国で
は、「こども大綱」をもとにこども
にかんする取組をすすめていきます
が、その取組をすすめる上で、みな
さんの意見をききたいです。

**ぼしゅうする年代と
人数**
ぶらすメンバー全年代
30人ほど
をぼしゅうします！
小学生や中学生のみなさん
にとって話しやすいしつも
んもよういしています♪

かさい日時など
対面とオンラインでやります！
（オンライン）
2月23日（金・祝）10時～12時
Webexを使ってやります
（対面）
2月23日（金・祝）14時～16時
こども家庭庁でやります
（東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビルディング22階）

はなしあう方法
6つの少人数の班に分かれて、それ
ぞれの班でちがうテーマについて話しま
す。（テーマは次のページを見てね）
みなさんが安心してさんかができるよ
うにきき役のおとな（ファシリテー
ター）がさまざまなくふうをします。
あんしんして参加してね！

かいさい がいよう
開催概要

テーマ	安心して子どもを産み育てられるために、どんな社会になってほしいですか？	
<small>たんとうしょうちょう</small> 担当省庁	こども家庭庁、厚生労働省、国土交通省、文部科学省	
開催日時	【オンライン】 令和6年2月23日（金・祝）10:00～12:00	【対面】 令和5年2月23日（金・祝）14:00～16:00
開催場所	【オンライン】 Webex	【対面】 こども家庭庁 （東京都千代田区霞が関3-2-5霞が関ビルディング）
<small>さんかたいしょうしゃ</small> 参加対象者	全年代のぷらすメンバー	
グループ数／参加人数	【オンライン】 1班：小学生5名 2班：中学生2名、高校生世代1名 3班：小学生2名、高校生世代3名 4班：高校生世代2名、社会人世代3名 5班：大学生・大学院生世代1名、社会人世代4名 6班：高校生世代1名、大学生・大学院生世代2名、 社会人世代3名	【対面】 1班：小学生2名、中学生2名 2班：中学生2名、高校生世代3名 3班：小学生2名、中学生1名、高校生世代2名 4班：高校生世代2名、大学生・大学院生世代2名、 社会人世代1名 5班：高校生世代1名、大学生・大学院生世代3名、 社会人世代2名 6班：大学生・大学院生世代2名、社会人世代2名
<small>せつめい</small> テーマ説明	ぷらすメンバーのみなさんにも意見を聴きながら、2023年の12月に「こども大綱」が完成しました。 国では、「こども大綱」をもとに子どもに関する取組をすすめていきますが、その取組をすすめる上で、 みなさんの意見を聴きたいです。	

The page features a decorative border of blue flowers in various shades and sizes, scattered across the top and left sides. A large, light blue, hand-drawn cloud-like shape frames the central text. At the bottom right corner, a blue crayon is positioned as if it has just finished drawing the border.

1. 遊びや体験活動などについて

1. 遊びや体験活動などについて

Q1. 普段どのような場所で遊んでいますか？

学校や外で遊んでいる

- 普段は学校の外で遊ぶが、クラブ活動の日以外は校庭や空き教室等で行われる放課後子供教室で遊んでいる。雨の日は体育館で遊ぶ。家で勉強を終わらせて、週に2～3日は遊んでいる。(小学生)
- 普段は遊びに行く時間が無い。夏休みはおばあちゃんの家で遊ぶ。そこでは、ごはんをついたり、山や海で働く人に話して食材をもらったりして、自分たちの力だけで過ごすプログラムに参加した。(中学生)



自分の家で遊んでいる

- 友達の家にはなかなか遊びに行かない。1年前は行っていたが今はあまり行っておらず、友達を自分の家に呼んでいる。(小学生)

Q3. 普段遊ぶ場所にどんな遊具やスペース、イベントがあってほしいと思いますか？

遊具や人・スペースについて

- 動物が居る場所が欲しい。(小学生)
- カードゲームの相手や話し相手になってくれるなど、相手をしてくれる人。(中学生)
- 学校の体育館以外に体育館で遊べる場所が無いので、学校の体育館で自由にボールやマットを借りて遊べるようにしてほしい。体育館で道具を使う時、倉庫から好きな道具を出して遊べるようにしてほしい。授業時間以外は倉庫が閉まっているので使えない。(小学生)

Q2. どんな遊び場や居場所があったらいいと思いますか。

こんな場所がほしい

- 校区内に無いので、近くに児童館や図書館をつくってほしい。(小学生)
- 遊び道具がたくさんある場所が欲しい。普通の家には無い物があると良い。(小学生)
- 家ではできない体験ができる場所があると良い。例えば、家ではできない理科の実験ができると良い。(小学生)
- 小さい頃に住んでいた場所では、建物の中に雨でも遊べる遊び場があった。そのような場所は小さい子のための場所で、大きくなったら遊べない。大きい子どもでも遊べる場所が欲しい。(小学生)
- 家から気軽に誰でも行ける場所が欲しい。家の近くの公園はボール遊びが禁止なので、ボール遊びができるようにしてほしい。(中学生)

遊び場でこんなことをしたい

- 家の前の広い場所で、犬とかくれんぼしたりして遊びたい。(小学生)



イベントについて

- 運動会の時、1年生しか玉入れをしない。でも、私は2年生、3年生になっても、玉入れが楽しいのでやりたい。「運動会でできなかった運動会でやりそうなもの」をやるイベントがあると良い。(小学生)
- 月に1回くらい、地域の人同士で触れ合うイベントをしてほしい。学校でどんな遊びをしたいか計画し、イベントを子どもが中心になって行う。そうすると地域の交流もできて、人々のつながりも強くなるかもしれない。(小学生)

1. 遊びや体験活動などについて

Q4. 「遊びにくい」と感じる場面はどんな場面ですか？

人について

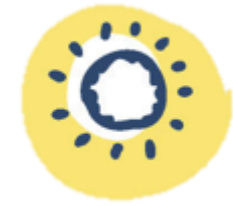
- **友達がいないうちや、友達は居るがその友達が他の子と遊んでいる時。**
(小学生)
- 学校で鬼ごっこをやりたいが、**先生が居るとやりにくい。**(中学生)
- 遊んでいる時に「**仲間に入れて**」という、「**いま遊んでいるから**」と**仲間はずれになったりする。**(小学生)
- 学校の体育館で1年生から6年生まで交代で遊べるが、**勝手に他の学年が入ってくる**ことがあるので**遊びにくい。**(小学生)

場所について

- **鬼ごっこは広い場所じゃないと盛り上がらないので、広い場所が良い。**
(小学生)

時間について

- 苦手なことをしている時や忙しい時に、**遊びを強制参加にしないでほしい。**
(小学生)
- 休憩しようとベンチに座ろうとしたら、**高校生や中学生がスマホを触っていてずっと座れないことがあるので、ベンチを使う時間を決めてほしい。**
(小学生)
- **公園で低学年に遊具を譲らないと怒ったり泣いたり喧嘩になったりする**ので譲るようにしているが、3時間くらい経っても全然交代してくれない。そのような場合は別の公園に行くようにしているが、本当は交代するようにしてほしい。**使える時間を決めてほしい。**(小学生)



Q5. こんな遊びをしたかったのに出来なかったことはありますか？

- **ボール遊びをしたいが、友達も近くにいるわけではないのでできなかった。**
(中学生)
- 初詣に行った時、神社にシーソーがあったので友達と遊んだらめっちゃ楽しかった。**またシーソーをやろうと探したが無かったので、もう少し公園が欲しい。**(中学生)



1. 遊びや体験活動などについて

Q6. みなさんがやったことがある活動はありますか？

科学体験について

- 夏休みに絵や粘土で図鑑みたいなものを作ったことがある。(小学生)

文化芸術体験について

- お母さんが「これやってみたら」と言うことがある。琴や日本舞踊をした。(中学生)
- いろんな学校が集まって、練習した音楽を発表した。(小学生)

職業体験について

- 社会科見学で山に行って林業体験をした。めちゃくちゃ大変だった。(中学生)
- 総合の授業で刃物を作っている工場に行って調べたりインタビューした。(小学生)

自然体験について

- 5年生と6年生の時に自然体験をした。結構楽しかった。(小学生)

集団活動について

- 学校の係ではデザインツールを使いSNSに小学校の活動について投稿し、ICT委員としては学校のイベントや勉強を楽しくする方法等を考えている。(小学生)

社会貢献について

- 5年生が能登半島地震の募金活動をしていたので募金した。(小学生)

体験活動ってなに？

<p>自然体験 キャンプ、登山、カヌー、サイクリング、スキー、クラフト等</p> 	<p>集団活動 子ども会、委員会、係、クラブ等</p> 
<p>地域行事 お祭り、スポーツ大会、音楽祭、交流イベント等</p> 	<p>社会貢献 清掃活動、募金活動、環境保全活動、地域おこし等</p> 
<p>職業体験 農林漁業体験、インターンシップ等</p> 	<p>文化芸術体験 音楽、絵画、演劇、書道、舞踊、茶道、華道等</p> 
<p>科学体験 科学実験・工作、ロボット制作、プログラミング等</p> 	<p>国際交流体験 国際交流事業、ホームステイ、イングリッシュキャンプ等</p> 

※いけんひろばの当日に参加者にお見せした資料の一部です

地域行事について

- 学校の運動会とは別で、複数の学校が集まって行うスポーツ大会をやったことがある。徒競走、ハードル走、幅跳び、高跳び、リレー等をやった。(小学生)



1. 遊びや体験活動などについて

Q7. やってみたい活動は何ですか。

国際交流体験について

- 海外に一度も行ったことが無いので、**留学**してみたい。(中学生)
- **ベネチアの雰囲気**が好きなので、**イタリア**に行ってみたい。(中学生)



職業体験について

- **電車の運転体験**ができる施設に行きたい。(小学生)
- 動物園の裏側が見られるので、**バックヤードツアー**に参加してみたい。(小学生)
- **国立科学博物館**に行った時、色々なことを研究している人に話を聞いて面白かった。また行きたい。(小学生)



科学体験について

- **算数の問題**をつくらしてみたい。立体や規則性の問題をつくりたい。(小学生)



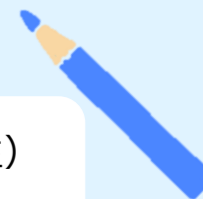
社会貢献について

- 募金だけでなく、**実際に社会貢献活動の現場**を見に行きたい。(中学生)
- **建物の掃除**をやってみたい。色々なところがピカピカになると気持ちが良いし、物を整理したい。(小学生)
- 親が忙しいときに、**小さい子どものお世話を**したい。一緒に遊んだり、ごはんを食べさせたりしたい。(中学生)



その他

- **自分でどの授業**を受けるか**選べる**ようにしてほしい。(中学生)
- **まだやったことが無いスポーツ**をやりたい。(小学生)



Q8. やってみたい活動がどのような場所や時期に開催されると参加できますか。

日時について

- **夏休みや休みの日**であれば、ほとんどの人が行けると思う。(小学生)
- 化学実験は長期休みでなく土日でも良い。自然体験は無理かもしれないが、算数の問題ついたりすることは土日でもできる。(小学生)


場所について

- **交通機関から近い場所**でやると、色々な人が行けるので良い。(小学生)
- **みんなが知っている広い場所**でイベントをした方が分かりやすく良い。(小学生)



その他

- 職業体験は**仕事を実際にやっている場所**で行う方がリアル感がある。(小学生)



2. こどもまんなかまちづくりについて

2. こどもまんなかまちづくりについて

Q1. まちなかで遊ぶ時や登下校の際に、公園や水辺、通学路等で困ったこと・こうした方がいいと思うことはありますか。

公園について

○公園でボール遊びをしたい

- 私の住んでいる市ではボール遊びが禁止の公園が多い。「**こどものボール遊びが迷惑**」と認識されていること自体が、こどもまんなか社会じゃないと思う。「こどものボール遊びは迷惑だから校庭に押し込めろ」という発想がされていることにすごくもやもやする。**そんなにこどもと大人の生活空間を分ける必要があるのなら、大人向けには緑があるような公園をつくれればいい。**一方、外で体を動かして遊びたいこどもは、遊具があるような公園に行けばいいのかもしれない。ただ、果たして世代間交流という意義がある公園を、そのように世代によって別々の場所としてつくるようなありかたで良いのだろうか。**公園の差別化も必要だが、公園が世代間交流の場所にもなることも考えて「全ての人が使える公園」を作らないと「こどもまんなか」にはならないのではないか。**（高校生世代）

○公園を充実・整備してほしい

- 公園がボロボロ。**あまり使われておらず、最終的には空き地のようになっている。大きい公園には人がいて沢山遊具もあるが、ブランコしかない公園などもあるので、**もっと遊具を増やして整備してほしい。**（中学生）
- 公園にトイレが全然ない。**バスに長時間乗っていて体調が悪くなった時、公園にトイレがないのでどこに入ればいいのかかわからず、仕方なくコンビニや施設などを探して入る。**できれば公園に公衆トイレがあると安心できる。**（高校生世代）



○公園で安心・安全に遊びたい

- 地元には大きい公園も5箇所くらいあり、大人も運動できるような場所になっている。**公園にトレーニング器具が置いてあるが、その器具を小さいこどもが使い、けがをしているのを見たことがあるので何とかしたい。**（中学生）

○公園やプレーパークを増やしてほしい

- 小さい公園を増やすことで、各公園に人が分散し、地域の交流も進むの**でいいと思う。（高校生世代）
- 公園に似た「プレーパーク」ではこどもは泥遊びや火遊びなどもやっていいが、責任は自分持ち、というルールになっている。**近頃遊具やボール遊びができる公園が減っている理由は、公園側が事故の責任をとらなければいけないからだと思う。**であれば、こどもがこどもらしくいられる場所を地域を増やすため、遊んでいる人が自分で責任をもち、時にけがをしながらでも色々なことを学んで良いんだよ、という整理にすればいいのではないか。（高校生世代）

○公園をきれいにしてほしい

- トイレが汚い公園は、親にとってもこどもを連れて行きづらいのではないか。**（中学生）
- 家の周りの公園は、ハトの糞で汚れており、遊びに来るこどもの数も減ってきた。公園をきれいにすれば、遊びに来るこどもも増えるのではないだろうか。（中学生）

2. こどもまんなかまちづくりについて

Q1. まちなかで遊ぶ時や登下校の際に、公園や水辺、通学路等で困ったこと・こうの方がいいと思うことはありますか。〈続き〉

遊ぶ場所について

- **中高生にとって遊ぶ場所があまりない。**乳幼児や小学生は楽しむために遊具が必要だと思うが、中学生以上だと、何も遊具がない場所でも遊べる。ボール遊びなどもするが、屋内のフリースペースで遊ぶことが多い。
(中学生)

まちなかのトイレについて

- トイレがとても暗く、治安が悪そうなところが多い。**トイレの入口部分に防犯カメラを付けたり、照明を明るくしたり、近くに花壇を置いたりして雰囲気良くすれば、こどもも安心してトイレにいけるのではないか。**市内で、過去にトイレにこどもが連れ込まれた事件もあった。早めに改善してほしい。
(中学生)

駅について

- **電車の乗り降りの際、電車とホームの間隔が広いと感じる。**私は小さいころ母親と歩いているときに電車とホームの間に足をはめてしまった。
(中学生)
- 小さい子を連れていくと、電車に乗るときが結構大変そう。特に電車やバスの利用時が大変そう。(高校生世代)

自転車について

- **車道に自転車専用レーンをもっと増やしてほしい。**道に自転車が溢れている状況もある。車を使えない学生にとっても遊びやすい町にするためには、自転車をもっと使いやすいような町に変えられたらいいのではないかと思います。
(高校生世代)



街灯について

- 道に街灯が少ない気がする。**人通りが少ないところで怖い思いをすることがあるので、街灯を増やしてほしい。**(高校生世代)
- 学校の友達はほぼ塾に通っている。自分はオンライン授業を受けているので大丈夫だが、塾は帰りが22時を過ぎることもあるとのこと。帰り道に街灯がほとんどなく、人も少ないので危ないと聞く。(中学生)

電柱について

- 傘をさして電柱の横を通る時、傘を電柱を支えるワイヤーに引っ掛けたことがある。**駅の周りは電線が地下に埋められ始めているが、山の周りはまだ電線の地中化がされていない。**(中学生)
- **液状化しやすい場所を中心に、電線の地中化を進められたら良い。**
(高校生世代)

通学路の交通安全について

- **交通安全教室の開催回数を増やす必要があると思う。**通学路があるエリアの住民に、通学の時間に外に出てもらい、登下校の見守りに協力してもらおうなどの工夫が必要かと思う。(高校生世代)
- 学校でPTAが通学路の見回り挨拶運動をしている。(中学生)



2. こどもまんなかまちづくりについて

Q1. まちなかで遊ぶ時や登下校の際に、公園や水辺、通学路等で困ったこと・
こうした方がいいと思うことはありますか。〈続き〉

道路について



○信号機や横断歩道などを設置してほしい

- **通学路には信号がない横断歩道が結構多い。**（中学生）
- バス停がある道路では、**反対側にわたる必要があるのに近くに横断歩道がない。**横断歩道を作ってほしい。（高校生世代）

○設置物を修理してほしい

- 「割れ窓理論」という「窓が割れている住宅があると空き巣につながる」すなわち「小さな犯罪が大きな犯罪につながる」という理論がある。**標識もすぐに直さないと、だんだんと大きな事故などにつながっていくと思う。**（中学生）
- **家の近くのガードレールが曲がっていて危ない。**曲がってから1週間後くらいに補強のためのテープが貼られたが、それ以降そのままになっている。**早く直した方が良くと思う。**（中学生）

水辺について

- 川にガードレールがあると、かえって大人がすぐに助けられないこともある。**何かが起こったときに、大人がすぐに子どもを助けられる環境にしていなくて、子どもの水難事故につながってしまう。**ただものをつくるだけでなく、住んでいる人のことを考える思いやりがあると良い。（高校生世代）

その他

- **公園や水辺、道路など子どもが何気なく使う環境に結構生きにくさがあると感じる。**環境改善のために、変革を担う地方自治体にも伝えたい。意見の伝え方も、思いついた時に伝えられるような手段が必要なのかなと思った。地域の見守りも大切だと思う。**子どもが生きやすい雰囲気のある社会にするためには市民性や地域性を高めていくことが必要だと思った。**（高校生世代）

Q2. 自分が子育てをすることを想像したとき、どのようなまちだと嬉しいですか。

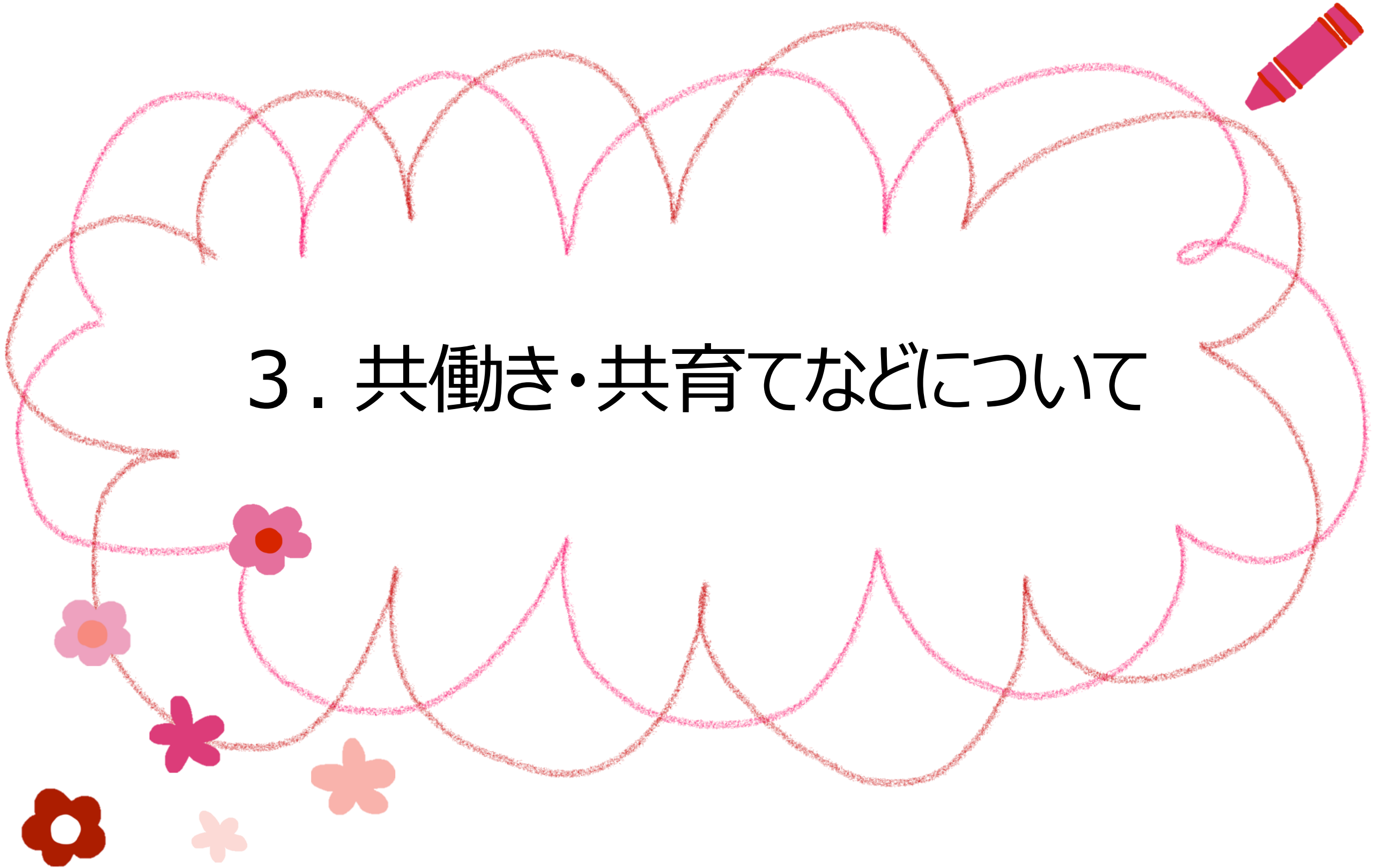
道路について

- **歩道に段差があるところが多い。**ベビーカーなどを使っていると、移動しづらいと思う。**道路が平坦で通りやすくなったらいいなと思う。**（高校生世代）

公園について

- 自分が住んでいる市は、駅の近くに遊具がある公園がある。一方、駅から少し離れると、小さい公園ばかりになる。**大きい公園には車などで移動する必要がある**ので、住宅地にも、遊具がそこそこそろっている公園があると便利じゃないかなと思う。（中学生）





3. 共働き・共育てなどについて

3. 共働き・共育てなどについて

Q1. あなたの親は子育てしやすそうですか。大変そうですか。

子育てしやすそう

- 親は有休をちゃんと取れているので、ブラックな職場ではなく、子育てしやすそうだと思う。インフルになったとき、5日間は自宅療養しないといけないが、親は子どもと一緒にいてあげた方がいいので、子どもがインフルになったら親も休めるような制度があったらいい。自分が病気の時も他の部屋に人がいるだけで安心できた。自分が親になった時もそういう制度があると助かると思う。(中学生)
- 母が専業主婦をしており、自分ときょうだいの年が離れているので、負担が少なそう。母がしんどそうだなと思ったことはない。家事全部を母がしているのではなく、父も家事をしてくれているので母の負担は少なそう。私が大人になったときも家族と家事の分担ができたらいい。(高校生世代)
- 親は共働きだが、親戚の家が近所にあるので、両親が仕事で家にいないときには親戚が自分たち子どもの世話をしてくれた。周りのサポートが手厚かったので子育てはしやすかったと思う。親戚がいなかったら子育ては難しくかったと思う。両親の仕事が忙しいので、近くにサポートしてくれる人はいた方がいいと思う。(高校生世代)

大変そう

- 習い事や学費などの費用面で、現在の物価高や賃金が上がらない影響で苦勞していそう。習い事への費用補助は難しいと思うが、何割かは支援できるといい。習い事よりも学費の支援をしてほしい。(高校生世代)
- 中学校が遠くて通学に時間がかかる。隣の自治体の私立学校は家の近くにバスが通っていて楽に通える。楽に通学できるようなサポートや手段があると、親の子育てが楽になると思う。(小学生)
- 親は共働きしている。きょうだい2人いて、親は3人を育てて大変そうだった。習い事の予定があるので、習い事や保育園の送り迎えが重なることがある。親が分担するのが大変そうだった。(小学生)
- 親が共働きである。父が小学校のころから単身赴任していた。母が自分ときょうだいを一人で見るとは大変そうだった。父が近いところに赴任しているときは数日に1回は会えたが、1か月会えないときもあって、会えなくて寂しかったし、母も家事をひとりでしていたので大変そうだった。父が家にいないことが多かったので、母は送り迎えが大変だった。家から近い場所の単身赴任だったら、もっと子育てしやすかったと思う。(高校生世代)

どちらかというと大変ではなさそう

- 自分の親は子育てが大変だったわけではないと思うが、仕事は朝早く、夜遅かった。父は勤務先が遠かった。1週間会えなくて当たり前ということもあった。両親の職場は子育てに理解があり、学校や保育所が急に休みになった時は、子どもを職場に連れて行って、子どもが遊んでいたりと絵をかいていたりとすることが大丈夫な環境だった。(高校生世代)



3. 共働き・子育てなどについて

Q2. 子育てするときにあったら楽になりそうな支援はありますか。

金銭面の支援について

- 各家庭の子育てに係る経費を支援してほしい。収入により支援する家庭を分けるのではなく、全家庭に一律で給付があったらいい。子育てが少しはやすくなると思う。(高校生世代)
- 産休・育休をとった人がいる職場の給料が何割増しかになる制度があったらいい。休む人も、自分が休んでも周りの人の給料が上がるということがあれば気持ちが楽になると思う。(高校生世代)

働き方の支援について

- 子育てする親は、子どもが小学校卒業するくらいまでは「泊りがけの仕事はなし」とする配慮がある社会だといえると思う。(高校生世代)
- 父は小規模の会社で働いており、一人が休んだら仕事が回らないというように、休みを取りにくい環境だった。休みたい人が子育てのために気軽に休みやすい環境や、休みたい人の周りの人も気持ちよく「休んでいいよ」と言える環境が必要だと思う。(高校生世代)
- 親に学校に迎えに来てもらうことが多かった。両親は仕事を途中で抜けるのが難しい。子どもが体調を崩したときに、親がすぐに迎えに行きやすくていい制度があるといい。(高校生世代)



Q3. 大人になったとき、仕事、子育て、家事、そのほか、の中でどれを大切にしたいですか。10ポイントを持っていたら、そのポイントをどう振り分けますか。

仕事を大切にしたい

- | | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 仕事4 | 子育て3 | 家事1 | そのほか2 |
|-----|------|-----|-------|

仕事が自分のやりたい仕事だったとしたら、たくさんお金を稼ぎたい。子育てについては、こどもといる時間は大切。家事は、料理が得意でないので、重要視していない。将来の夫に任せたい。そのほか、息抜きも必要。子育ては、共働きなら保育所利用したいが、親のサポートもほしい。(高校生世代)
- | | | |
|-----|-----|-------|
| 仕事5 | 家事2 | そのほか3 |
|-----|-----|-------|

お金が欲しい。老後までに2,000万円を貯めたい。誰かの子どもを幸せにしたい気持ちはあるが、税金は高いし、少子高齢化対策もそんなにされていないと思うので、自分は子どもを欲しいという気持ちはない。(中学生)
- | | | |
|-----|-----|-------|
| 仕事4 | 家事2 | そのほか4 |
|-----|-----|-------|

結婚願望がなく、子育てにも興味がない。やりたい仕事はある。家事は、料理が好きなのでやりたい。仕事や家事以外にも趣味でやりたいことがある。仕事をしながら休みをとれる環境が大事。(小学生)
- | | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 仕事5 | 子育て2 | 家事2 | そのほか1 |
|-----|------|-----|-------|

仕事しないとお金をもらえないし、好きだと思えるので優先したい。仕事しつつ子育てに関わり、家事も分担したい。趣味は特にないので、少し休憩したい。育児休業やワークライフバランスがもっと広まってほしい。(高校生世代)
- | | | | |
|-----|------|-----|-------|
| 仕事4 | 子育て3 | 家事2 | そのほか1 |
|-----|------|-----|-------|

やりたい職業が定まっています、やりがいを感じられる仕事という前提。いま、どのような職種でも育休をとるのは女性が多いと思う。育休の間に男女でキャリアに差が出るのは疑問。自分のキャリアも大切にしたい。(高校生世代)

3. 共働き・共育てなどについて

Q3. 大人になったとき、仕事、子育て、家事、そのほか、の中でどれを大切にしたいですか。10ポイントを持っていたら、そのポイントをどう振り分けますか。〈続き〉

バランスを大切にしたい

仕事 3	子育て 3	家事 3	そのほか 1
■	■	■	■

生活するためにお金が必要なので仕事は大事だし、同じくらい子育ても大事。家事は生活する上で絶対やらないといけないので、これも大事。仕事や家事をした後、リラックスする時間も必要。**仕事と子育ての両立のため、親が仕事の時間を朝や夜に自由に動かすことができるといい。**（小学生）

そのほかを大切にしたい

仕事 3	子育て 1	家事 2	そのほか 4
■	■	■	■

子どもを学校に通わせたり、子どものことで色々とお金がかかったりと大変な面がありそう。**子どもがいるのは幸せだと思うけれど、将来は自分の好きなことを大切にしたい。**子どもが病気になったときは仕事をどうしたらいいだろうか、習い事しゅだんのときは移動手段をどうしようか。**子育てをするときは、男性にも家庭科を習ってもらって、家事を手伝ってもらえるようにしたい。**（小学生）

仕事 2	子育て 3	家事 1	そのほか 4
■	■	■	■

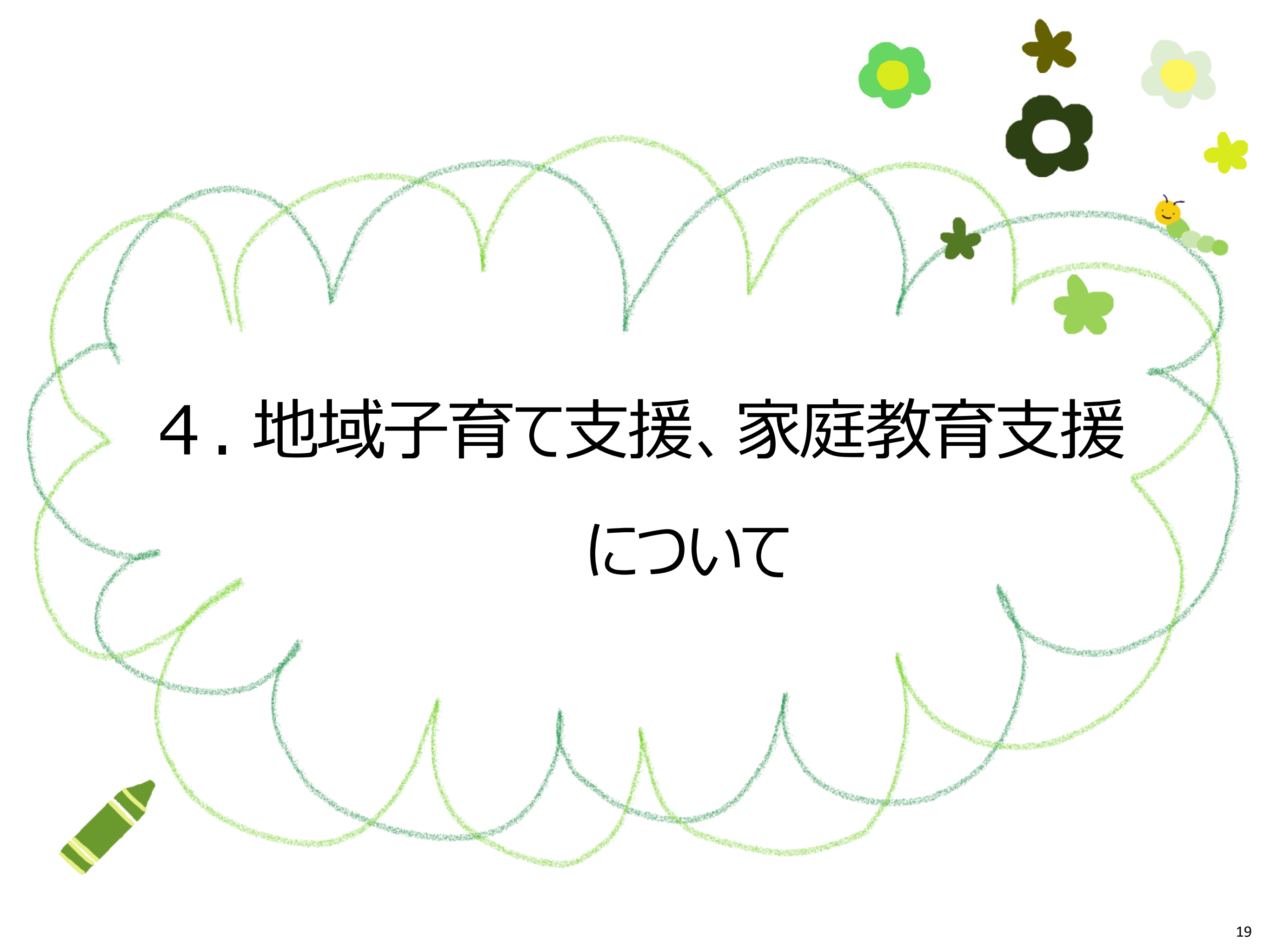
趣味があることで勉強のやる気がでたり、つらいことがあっても心の支えになっている。趣味のおかげで自分があるので、そのほかを一番大切にしたい。仕事は「これをやりたい」ということは決まっていないが大切。子育ては、子どもとのコミュニケーションを大切にしたいので、仕事よりポイントを高くした。**会社などで子どもを預けられる場所を今よりも増やし、親と子どもと一緒に通勤できれば親子の関わりが増やせる。便利な家電は高いので、育休に入ったときに家事の負担が減らせるよう、金銭的な支援があるといい。**

（高校生世代）

その他の意見

- 仕事と子育ての両立について、産休・育休で仕事を長期間離れることによってキャリアのロスがないようにしたり、以前やっていた仕事や企画から遠ざけられないようにする支援があれば両立ができると思う。出産や育児のために体調面で仕事ができないこともあるかもしれないが、完全にキャリアを中断してしまう、仕事をしなくなってしまうということにならないように、例えば週1～2回でも育休をとる人も仕事ができる環境がつかれるといい。さらに、そうした働き方を受け入れてもらえるような職場環境をつくるのが大事。**子連れ出勤できたり、職場に子どもを預けても安心して子どもを見てくれる人がいるようにする環境をつくることで、親が子どもと仕事の両方に関われるようにできるといい。**（高校生世代）
- 家庭で必要以上に子どもの面倒を見ないといけないとか、いい教育のために幼児教育をしないとダメとか、家庭で考えることが多くなっていると推測している。**便利な世の中なので、親は色々なものに頼るなど、選択肢を広げていいと思う。社会の雰囲気や啓蒙的なことで「家庭だけが子育てに責任を負う必要がない」と知らせていけるといい。**親が放課後の生活も見ないといけないという雰囲気があると思うが、親は仕事をしていると、子どもに何かあっても駆けつけられないこともある。（高校生世代）
- 小学校や中学校は親の就業時間よりも早く終わるので、例えば**小さい子どもがいる家庭には習い事の行きだけでも助けてくれる制度があるといい。**そうすると親は送りをする必要がなくなるので、その間でも仕事に集中できる。（高校生世代）





4. 地域子育て支援、家庭教育支援
について



4. 地域子育て支援、家庭教育支援について

Q1. 子育てに対して、どんな支援があると良いと思いますか。



子育てをしたいと思える環境をつくってほしい

- **こどもが生まれた後の支援に加え、こどもを産みたいと思えるような環境づくりが大事。**子育て環境が整っていないことが合計特殊出生率の低下に繋がっている。**地域社会が、出産・子育てをしやすい環境を作ることが必要。**（大学生・大学院生世代）

自治体間の差をなくしてほしい

- **自治体によって子育ての政策が異なることがストレスになっている。**現在住んでいる地域と里帰り先の書類が違った。里帰り先には住所がないので支援制度が利用できなかったことが残念だった。（社会人世代）

国・行政だけでなく、民間のサポートも強化してほしい

- 中学生の頃、**未就学児を持つ保護者のためにこどもたちを預かるというイベントを親が開き、子育ての相談にも乗っていた。**市外からも参加者も来ており需要があったので、民間からのサポートは必要だということだと思う。（高校生世代）

インターネットの危険からこどもを守る仕組みをつくってほしい

- ネットの普及により幼少期から様々なコンテンツに触れる。**昔に比べてコンテンツが増えた分、健全な発達の弊害になるコンテンツがある。**こどもが小さいうちから**ネットモラルを覚える場を設けた方がいい。**（高校生世代）

学校外での勉強の支援がほしい

- 塾に行きたくても行けない子もいると思う。**気軽に勉強を教えてくれる場所があれば、学校外での教育格差は無くせると思う。**（高校生世代）

地域での相談・支援体制を強化したり、仕組みをつくってほしい

- **小1の壁に対する支援や育児中の企業の時短制度を見ても、幼稚園生の時に比べ支援が充実していない。**習い事の送り迎えを支援してくれるような事業があればうれしい。（社会人世代）
- 近所の人と触れ合う機会がないため、こどものことの相談相手がいない。役所までの距離が遠かったり待ち時間が長かったりする。**相談窓口が少なすぎる。**（高校生世代）
- **地域と学校の連携が取れていないように思う。**地域の人と連携することで色々な活動ができるようになって聞く。**地域の人をより大切に、学校も親も地域との繋がりを持てたらいいと思う。**（大学生・大学院生世代）

保育園への支援を充実してほしい

- **保育園の数の確保と保育の質の向上をお願いしたい。**待機児童ではないが、家から職場への方向と真逆に保育園があり時間をかけて通園している人もいる。高い保育料を払い、時短勤務で時間をかけて通園すると収支はゼロになる。**入りたい保育園に自由に入れるようにしてほしい。**（社会人世代）

情報にアクセスしやすくしてほしい



- **子育て全般の情報にアクセスしづらい。**ホームページの完成度も自治体によって**差がある。**機器の操作が苦手な方や時間が無い方はせっかくいい情報があってもアクセスできない。（社会人世代）

4. 地域子育て支援、家庭教育支援について

Q2. 地域との繋がりを作るためにはどうするべきだと思いますか。

- 町内会での地域の人との関わりについて、地域おこし協力隊のような町外から来る人を積極的に受け入れるムードがあればいい。お金を出してでも祭りなどを復活させ、子育てに協力してくれる人たちを受け入れられる雰囲気作りをすれば、地域が子育て世帯を支えていくことが出来ると思う。
(大学生・大学院生世代)

Q3. 地域との繋がりを作るための活動について、地域住民に受け入れてもらうにはどうすればいいと思いますか。

地元へ愛着を持ってもらう

- こどもたちが育った後、地元から離れないようにするのが大切だと思う。一つの場所に留まると地域への愛着が湧いてきて地元のために活動しようと思えるが、移住してきた人たちは郷土愛を持っておらず、地域をよくするために精力的な活動をしてくれないと思う。(大学生・大学院生世代)

地域の組織に入ってもらおう

- こども会には、小学生から中学生までのこどもがいる。こども同士で縦の繋がりを作るのはなかなか難しいが、あると安心できる。こどもの先輩の親との繋がりがあれば、先輩のお母さんたちから洋服を貰ったり先生についての情報も入ったりする。会費がかからない組織があればいいと思う。親もこどもも周囲との繋がりができるし、こどもを育てやすい環境につながると思う。
(大学生・大学院生世代)



Q4. 将来、自分が親になった際に子育てに関してどんな情報が欲しいですか。

イベントの開催情報がほしい

- 子育てイベントの開催情報がネットやチラシで配られたら、子育てを一緒にしようという考え方が養われていくと思う。こどもたちと触れ合うイベントや、育児に手がからなくなった人が手助けしてくれるようなイベントがいいと思う。
(高校生世代)

施設や街に関する情報がほしい

- 子育てを地元ではないところでやっているが、こども用のトイレや授乳スペースがどこにあるのか全く分からないので、できれば子育て用のマップにアクセスできるようにしてほしい。商業施設等に対して、子育てにやさしい施設であるという国や自治体が承認を与えてマップに掲載してもらえれば、家から出る機会が増えて子育て世代はとても助かると思う。(社会人世代)
- 同じ県内でも地元から距離が離れると治安状況が把握できない。年代構成や公園があるかなど、どういう雰囲気の地域かがわかるようにしてほしい。
(社会人世代)



4. 地域子育て支援、家庭教育支援について

Q5. 国や自治体が行っている支援について、どのような情報発信の仕方が良いと思いますか。

SNS・アプリ・ホームページでの発信について



- **SNSだとアカウントを見つけるまでが大変。**区のホームページにはURLが貼ってあるだけでクリックしてもどこに繋がるか一目で判断ができない。
(高校生世代)
- **各自治体が運用するアプリがあるのはいいと思うが、高齢者が多い町だとアプリを使える方が少ない場合がある。**紙媒体での発信も情報が届きづらいし、防災無線も実際に誰が対応するのかなどの問題がある。効率的に幅広い年齢層に情報を伝えられる方法があると良いなと思った。
(大学生・大学院生世代)
- 支援内容によって担当が異なると思うが、ある自治体のホームページでは、たくさんの情報から必要な情報を見つけ出す作業をこちらに委ねている形式だった。**組織をまたいで情報をまとめ、様々な情報を求める人が異なるルートで目的に沿った情報にアクセスできる体制にしてほしい。**
(大学生・大学院生世代)

テレビや動画配信サービスでの発信について



- **ある程度年を取った人はテレビしか見ない印象があるので、政府広報のCMを流せば情報が伝わるかもしれない。**ただ、地方局がない地域もあるため、自治体ごとの情報を発信するには適していない。
(大学生・大学院生世代)
- **親世代でも動画SNSを見る人がいる。広告を流す地域をある程度絞りこめば、特定の地域に住む人たちに認知させることはできる。**
(社会人世代)

広報誌での発信について

- **広報誌は、興味がある人は情報にアクセスしやすいのでいい。**情報を知らない興味を持ちようがないのでまず知らせるといった側面では効果的。
(社会人世代)

その他

- **イベントの開催情報や何もしなくても自動的に適用される支援についての情報は届いても届かなくても問題ないと思うが、自分で申し込む必要がある支援についての情報は、必ず対象者へ届くように周知するべきだと思う。**
(大学生・大学院生世代)
- **こどもは社会みんなで育てるものという考え方がもう少し広まってもいい。**
(社会人世代)
- **社会全体で子育てを見守り、支えるのは後の世代のことを考えても大切。**社会全体で子育て世帯をサポートできる体制・風習が日本に根付けば、より価値ある政策が提案されていくと思う。
(高校生世代)





5. こどもの貧困対策について



5. こどもの貧困対策について

Q1. 日本在住のこどもの場合、どうい状況だと「貧困」の状態にあると考えますか。

生活の状態

- 中学校までは義務教育で通えたとしても、**高校・大学・専門学校等に進学できない状況や進学のために自分でアルバイトをしなければいけない状況等、勉強したいができない状況が貧困。**（大学生・大学院生世代）
- **実際貧しいかに関わらず、こどもが貧しい暮らしだと実感すること。**貧困の感じ方は、どのような状態を貧困と思うかに紐づいている。（社会人世代）

選択肢の数

- こども食堂でご飯を作っていて、「こどもたちが食べたことがある食材・知っている食材がとても少ない」と感じた。コンビニやチェーン店で提供されるものは好んで食べてくれるが、季節の野菜を使った家庭料理などは、全部残されてしまう。**食材選びのように、生活していく上での小さな選択肢も貧困に紐づいていると思う。**（社会人世代）
- **持っている選択肢の数は貧困状態と関係している。**（社会人世代）



人とのつながり

- 親がこどもに選択肢を与えることが多いが、親だけにこどもの選択肢を増やす責任を持たせることが良いのか疑問。親との関係だけであればもらえなかった美術館などの招待券は知人にもらって無料で行くことができた。**選択肢があるかどうかに加えて、貧困状態を考えるうえでは人との「つながり」も重要。**（社会人世代）

その他

- 貧困には複雑な背景がある。**虐待等の事件が起きる前に周囲が気づければ良いが、こどもにとっては「これが当たり前」と感じていて周囲に助けを求める方法も分からないと思う。**（社会人世代）



Q2. 「貧困」はどうして見えづらくなっていると思いますか。

- 虐待の相談窓口の案内を受け取ったことがあるが、相談方法がLINEや電話だった。**貧困に陥っている人はスマートフォンを持っておらずLINEができない場合もあるし、すぐに電話をできる環境にない。貧困を見える化する手段が取れない。**（高校生世代）
- **貧困に陥っている家庭は孤立しがちだと思う。頼る人もいない、そもそも窮状を訴える手段が無い、相談の仕方も分からない。自分たちが置かれている環境を問題だと思っていない人たちもいると思う。**これらの理由があつて日本の貧困が見えづらいのではないか。（大学生・大学院生世代）

Q3. 皆さんの中で「貧困のライン」はありますか。

- **貧困の場合、将来の夢を選べないのではないか。将来の夢のための教育を受けられなかったり、そもそも将来の展望を想像しづらい。**世の中の職業をよく知らないこともあるのではないか。（大学生・大学院生世代）
- **友人の誘いを断わらざるを得ない状況も貧困を表している。**そのような状況になると、学校で浮いてしまうこともある。（大学生・大学院生世代）

5. こどもの貧困対策について

Q4. 「貧困」状態を解決するために、どのような助けがあると良いと思いますか。



食品

- **日本はフードロスが多く、そのうちの多くが家庭から出ているということだったので、それを活用した仕組みがあると食の面で貧困を解決できると思う。**
(高校生世代)

金銭

- **皆さん現金の給付を一番やってほしいと思う。**生活保護等、色々な支援を受ける際の手続きがとても煩雑で基準も厳しい。**簡略化された手続きや素早い給付で継続的に面倒を見てくれると自立しやすくなるし、こどもや親の社会進出も促進される。**お金の使い方が苦手な人は多いと思うので、**お金の使い方を提案してくれる専門家がいて良い。**
(大学生・大学院生世代)
- 自分は高校受験や大学受験にあたって、塾に通わずに民間の自習室で勉強していた。受験に向けた奨学金等の支援もあるが、塾の費用は本当に馬鹿にならない。**ひとり親家庭や保護世帯のこどもに授業料の支援をしている自治体もあると聞いたので、国全体でやってほしい。**
(大学生・大学院生世代)

人とのつながり

- **色々な年代のこどもが相談できる人が必要。**周囲の人が虐待・困りごとに気づけないという話があったが、国や自治体の仕組みによって互いに見守りあうことができれば良い。**あらゆるライフステージで相談できるネットワークや人があって良い。**家族のように距離が近い人であれば相談しやすい。
(大学生・大学院生世代)

情報

- **情報はインターネットで配信してほしい。**マイナンバーであればマイナポータルからこどもに直接配信してほしい。**対象となる家庭に1対1で直接リーチできるような仕組みの方が良い。**ただデジタルデバイドの話もあるのでどう情報を届けるかは難しい問題だと思う。(大学生・大学院生世代)
- 今は学校で1人1台タブレットが配布されていると聞く。その**タブレットを活用して奨学金情報をまとめたアプリ等で情報発信できると良い。**国が関与するとある程度安全性は担保できると思う。(社会人世代)



5. こどもの貧困対策について

Q5. 支援が必要なこどもが、こども食堂に繋がる（参加しやすくなる）ために、
どんなことが必要でしょうか。



行きやすい場所

- 食堂の場所がすごく大事。**学校帰りに立ち寄れる場所であれば、下校途中に寄る人が増えると思う。**（大学生・大学院生世代）
- **飲食店が運営しているこども食堂もある。こどもが来た時は無料にしたり、食べ物を渡したりする等の取組をしている。**いきなりこども食堂を実施するのは難しいが、このようなやり方だと**地域の人も親近感が湧いて良い。**（社会人世代）

案内の工夫

- 「こども食堂ができた」という情報を得たときに、そのこども食堂が安全なのかどうかをこどもが判断することは難しい。**自治体等に認証制度を設け、認証を受けている食堂について学校などから案内すれば安心して利用できるのではないか。**（社会人世代）
- こども食堂を周知するポスターに場所や時間のみを載せるのではなく、もっと**実際の雰囲気**が伝わるような工夫があると、こども食堂に行くまでのハードルが下がると思う。（大学生・大学院生世代）
- こども食堂は利用したことがない。**何かのついでに利用できるようにしたり、学校で周知したりすることは必要だと思う。**こども食堂がただ単に食事をする場所ではなく、**地域の交流ができる場であることを周知できれば、友達同士で誘い合っていくなど交流の輪が広がっていくのではないか。**（社会人世代）



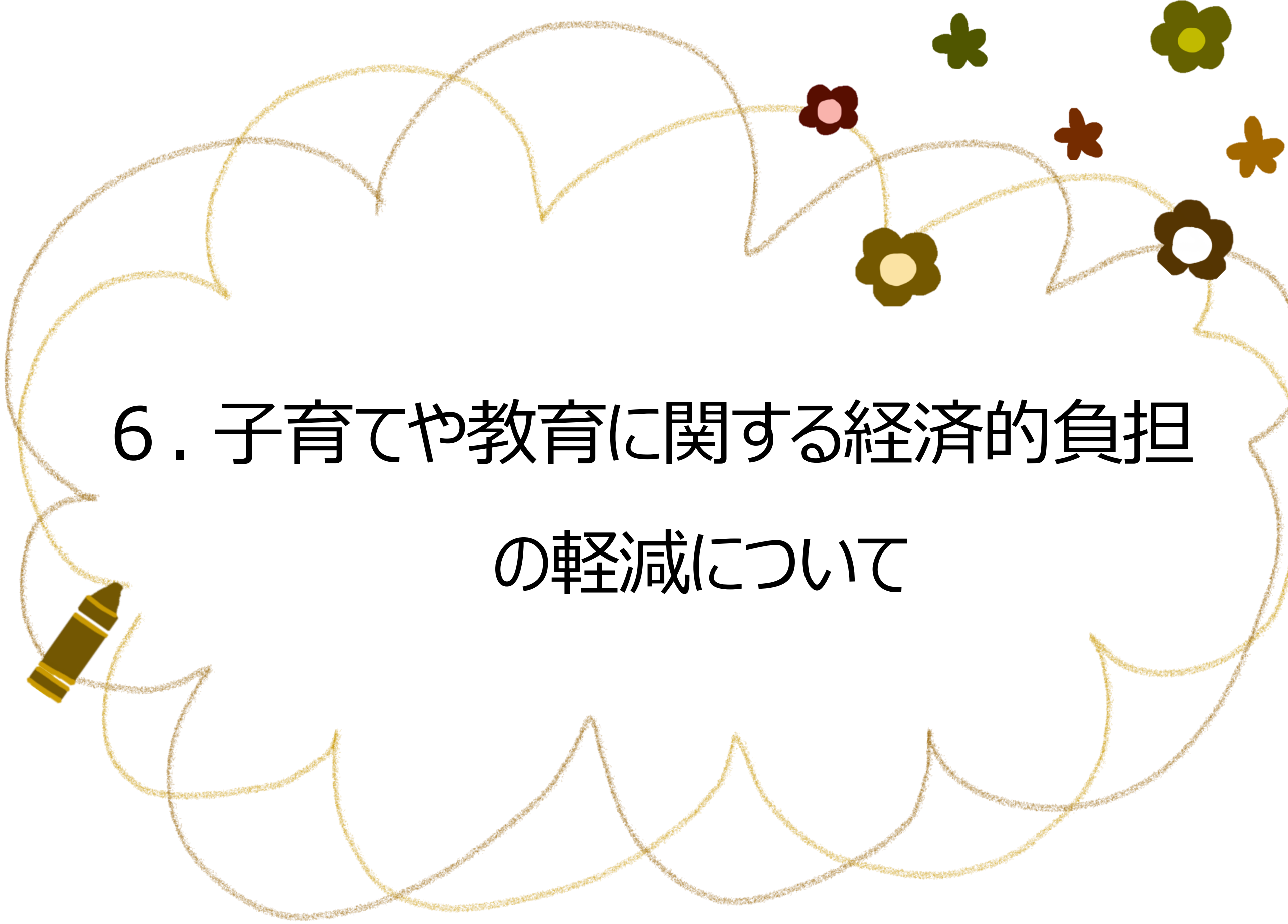
Q6. 親がこどものために全てをまかなう必要がないとすると、
どのような援助があるといいですか。



- 自分は共働きなので、手の込んだ料理を作る時間がない。作り置きができない料理を作ることが難しいので、**学校給食では季節を感じられる料理を増やして欲しい。**（社会人世代）
- **親だけでなく、親戚や職場の人にも頼れたら良いと思う。**（社会人世代）

Q7. 金銭的に困っている家で暮らしているこどもや家族などが、
困りごとを悩み続けないために、どのような助けが必要だと思いますか。

- **可処分所得を増やして欲しい。**こども食堂へのアクセスは、地域とのつながりを持ってもらうという観点や放置されている子が犯罪に巻き込まれないようにする観点から重要だと思う。行政がより重点的に取り組むべきだし、**そもそも食事に困らないだけの所得を国民が得られるように支援すべきだと思う。**（大学生・大学院生世代）
- **学生生活を過ごすだけでは安心できる居場所の存在を知るきっかけがないということもあるので対策してほしい。**身内以外の人が自分の話を聞いてくれる場所が学校と連携された形であると良い。（大学生・大学院生世代）



6. 子育てや教育に関する経済的負担
の軽減について

6. 子育てや教育に関する経済的負担の軽減について

0から2歳の保育料（月額）について

国が定める利用者負担の上限額は以下のとおり。

区分	利用者負担
生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯（～年収約 260 万円）	0円
所得割課税額48,600 円未満（～年収約 330 万円）	19,500 円
所得割課税額57,700 円未満（～年収約 360 万円）	30,000 円
所得割課税額97,000 円未満（～年収約 470 万円）	30,000 円
所得割課税額169,000 円未満（～年収約 640 万円）	44,500 円
所得割課税額301,000 円未満（～年収約 930 万円）	61,000 円
所得割課税額397,000 円未満（～年収約 1,130 万円）	80,000 円
所得割課税額397,000 円以上（年収約 1,130 万円～）	104,000 円

※1 保育標準時間 11 時間の預かりが可能の場合

※2 ひとり親世帯、在宅障害児者のある世帯、特に困窮していると市町村の長が認めた世帯、きょうだいがいる場合などは上記の額から減額

※3 自治体により独自の減免を行っている場合がある

（いけんひろばの当日に参加者にお見せした資料の一部）

Q1. 0歳から2歳の保育料を0円にすることについて、どう思いますか。



無償化・減額してほしい

- 0-2歳の保育料、もっと安くないかなあと思ってます。**時短復帰だったら保育料とプラスマイナスゼロの給与になるので、働く意欲がなくなります。**
（開催後アンケートでいただいた意見）
- こどもが生まれたら、産休後、**こどもを預けて職場に復帰しキャリアを築きたい。保育料無償化など、保育料に関する支援があると良い。**
（社会人世代）
- 若くして親になった人は収入も少ないので、こどもが幼い時期に補助や費用負担の軽減がある方が、こどものために貯蓄ができ、家庭に長期的にメリットがあると思う。**（社会人世代）
- 保育料の無償化には賛成。しかし、現在の保育園では2歳以上のこどもを預けたくても預けられず、保育士が足りていない。**保育料の無償化によって、0～2歳のこどもを保育園に預ける人が増えると保育園はパンクする。安心してこどもを預けられる仕組みを作っていくかないとならない。**
（社会人世代）



5. 子育てや教育に関する経済的負の軽減について

Q1. 0歳から2歳の保育料を0円にすることについて、どう思いますか。〈続き〉

無償化しなくてもよい

- 保育料は世帯年収によるので、負担感はそのままで大きくなく、個人と国の負担のバランスはとれていると思う。保育料を払う人の生活の余裕度は違うので、無償化すると高所得者の優遇になるかもしれない。
(社会人世代)
- 私は反対寄りである。タダに越したことはないが、保育所は教育施設ではなく、保育施設なので授業料無償化とは話が違うかもしれない。現在は、市町村民税非課税世帯の保育料が無料。そもそも待機児童問題があり、保育所の利用需要がある中で、無償化したところで待機児童問題が解消するのかわからない。(大学生・大学院生世代)
- 自分の周りだけかもしれないが、0～2歳のこどもを保育園に預けている人はあまりいない。保育料を無償化しても恩恵を得る人が少ないので、無償化しなくてもいいのかもしれない。0～2歳のこどもは家で親とふれあう時間を大事にした方がいいと思う。(大学生・大学院生世代)
- 私は0歳のこどもを保育園に預けたくないと思う。私は幼稚園に通っていたこともあり、保育園に自分のこどもを預けることを想像ができない。全員に対する支援として保育園の無償化をしても、私は保育園を利用しないと思うので支援の対象者にならないと思った。(社会人世代)



その他

- 自治体によって受けられる保育・教育に差が出ない方がいいので、自治体の独自減免ではなく、国が所得制限を設けて減額する方がいい。地方自治体も財源を他の行政サービスに使えるようになる。(社会人世代)
- 年齢が高くなるにつれて年収も上がる人が多いので、年齢が高い時にこどもを産む人ほど保育料が高くなり不利。こどもを持つ時の世帯年収で保育料が決まるのはナンセンスだと思う。保育料の負担額は世帯年収以外にもっといい考え方はないのだろうか。(社会人世代)
- 私は保育園を利用しないと思うので支援の対象者にならないと思った。0～2歳の保育料を無償化にする代わりに、おむつ代のチケットを配る方が生活の足しになると、みんなの意見を聞いて思った。(社会人世代)



5. 子育てや教育に関する経済的負の軽減について

Q2. 0歳から2歳の保育料が0円であるならば、
こどもを産み育てることへの考えが変わりますか、
それともこどもを育てるにはお金はかかるから産まないという考えもありますか。

産まないという考えもある

- **子育てはお金がかかるからこどもを産まないという考えは少しある。**しかし進学を考えると、昔に比べて大学進学に必要な費用はそこまで高くないと思う。**大学に行くという選択肢があるのはいいことだと思う。**こどもに十分な環境を整えるために、給料を高くするか、個人の負担額を少なくさせるという選択がある。国としては、負担を減らす方が進めやすいのだと思う。
(大学生・大学院生世代)
- こどもが少ない時代に自分のこどもを産むと、こどもが可哀想。**少子高齢化が進む中で、こどもにとっても負担をかける。**例えば**こどもが負担する年金も増えると思うので、こどもの未来を考えるとこどもを産みたいと思わない。**
(社会人世代)

その他

- **お金があればこどもが生まれるというわけではない。**こどもを持つには、相手がいとお互いに協力しないとこどもは生まれず、育たない。**保育料が無償化されることでこどもが欲しいと思うわけでもない。**(社会人世代)
- **こどもを生み育てることの費用だけにフォーカスせず、こどもを育てることの社会的な意味も含めて少し広い目で見たい。**あの家庭はこどもがいて偉いな、嬉しいなという、ポジティブな受け止め方ができるといい。組織が持続するためには次の世代が必要。「こどもを生むのは権利で、行使しないこともできる」という考えには違和感がある。**もう少しこどもを持つことをポジティブに捉えられるように、こどもを生むことで社会がどう発展していくかを学ぶ機会を教育課程に組み込むべきではないか。**(大学生・大学院生世代)

Q3. 0歳から2歳の保育料を0円（無償化）にするよりも、
優先して家庭のお金の負担を減らしたほうがよいことはありますか。

金銭面について

- **税金を減らしてほしい。**クーポンは用途が決められているため、例えばミルクで育てるか母乳で育てるかにより得られる恩恵は違う。通販で使えるクーポンの場合、居住地域が配達対象外のこともある。住んでいる地域ではベビーシッター券は使えないのでクーポン券は善し悪しがある。**こどもに必要なお金は人によるため、何にお金を使うかは個人で決めたい。**(社会人世代)
- 妊娠の検査費用は、病気ではないので全額自費負担。病気ではないが、**妊娠の検査費用の負担をなくしてほしい。**(社会人世代)
- **おむつや生理用品の日用品は消費税が10%のため、子育て世帯にとっての軽減税率になっていない。**(社会人世代)
- **出産育児一時金が増えても全国の産院で出産費用が値上げしているの**で、**出産育児一時金は個人に還元されず、恩恵が受けられていない。**
(社会人世代)

サービスについて

- **子育てに必要な日用品を買える場所で使えるクーポンや購入したものを家まで配達するサービスがあるといい。**(大学生・大学院生世代)
- こどもを育てたくても経済的余裕がない人は、仕事や家庭を両立することへの精神的な負担があると思う。**ファイナンシャルプランナーなどのプロに経済的な悩みを相談できる環境や、精神的な負担に関して気兼ねなく相談できるホットラインがあるといい。**(社会人世代)
- **ベビーシッターを充実させてほしい。**ベビーシッターに家事を任せて、仕事のあとにこどもとの時間が欲しい。**十分な人数のベビーシッターを確保するために国のお金を使ってほしい。**(大学生・大学院生世代)

5. 子育てや教育に関する経済的負の軽減について

Q4. 学校に通うにあたって、お金が理由で進学等をあきらめた経験や、進路を変更した経験をしたり、見聞きしたことがありますか。

進学や就職先について

- 学校に行きたくても行けない人は周りに多い。国には何も期待していない。**学校に行けなくても就職したらなんとかなるので、学校に行けない人のために就職先を充実させて、ハローワークなどの就職支援プログラムで社会に出る仕組みが整えられていればいい。**（社会人世代）
- 大学で奨学金を借りた人は、就職活動の際に奨学金返還支援制度がある企業を見ていた。私は奨学金を借りていないので、企業を選ぶ際の判断基準にならなかったが、**金銭的に奨学金の返還を補助してくれる会社に行かざるを得ない人もいる。**（社会人世代）

費用について

- 奨学金は大学入学後に使うものが大半で、志望する大学へ進学するための金銭的支援は少ない。国の支援として、受験費用の補助はあるが、塾や参考書にかかる費用の補助は少ない。**支援が充実していないと、後々の進路や就職先に影響して収入が減り、将来こどもにも十分な教育環境を与えられず、負のスパイラルにはまる。志望する進路を叶えるための費用を補助するサポートが必要。**（大学生・大学院生世代）



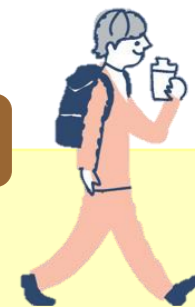
Q5. 経済的に困難でも進学したいひとはどうすればいいと思いますか。

情報発信について

- **情報さえあればお金を理由に大学進学を諦めることはない。**情報を知らないのは情報収集を怠っている結果だと思う。情報にリーチできない環境である場合は、別の問題だと思う。生活費のサポートをする奨学金もある。（大学生・大学院生世代）
- **お金がないと余裕がなくなり、奨学金の情報までたどり着かないというケースはあると思う。**やることが溜まり、他のことが見えなくなっていくと思う。欲しい人に欲しい情報を伝えるのは難しく、どうしたらいいのだろう。困っている人が自ら奨学金制度について調べることも、実際は難しいと思う。（大学生・大学院生世代）
- **進学に対する補助があることを知らない人も多く、選択肢を狭められている人たちが支援されるといい。**同じ年収の家庭でも、こどもの人数や兄弟の年齢差などは金銭面で重要な要素になると思うので、**実際の金銭的な事情に合った支援ができるといい。**（大学生・大学院生世代）
- **高校の進路指導として、大学の奨学金に関する情報をカリキュラムに組み込むことを義務付けるといいと思う。**（大学生・大学院生世代）

その他

- 周りの考え方や育った環境によっては大学進学の実績がない状況はまだあると思う。**誰しものが夢を追いかけられる環境があってほしい。**（社会人世代）

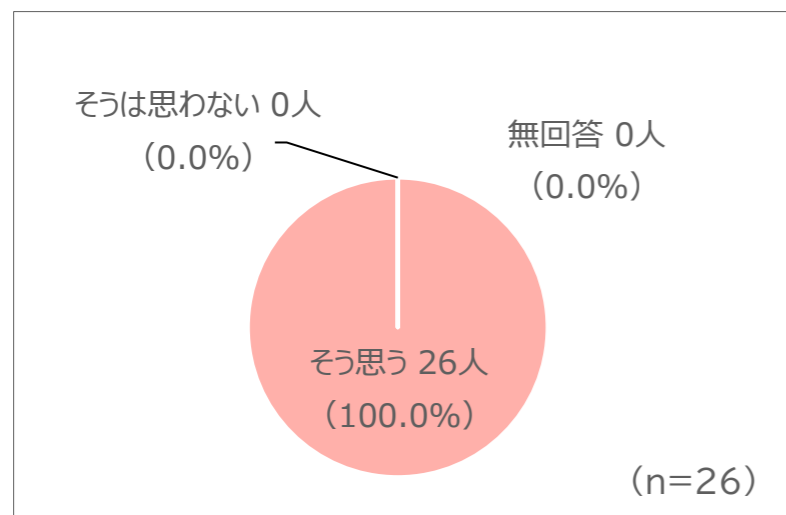




参加者アンケート

【オンライン】参加者アンケート（一部を抜粋して掲載）

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



「そう思う」の理由（自由回答）

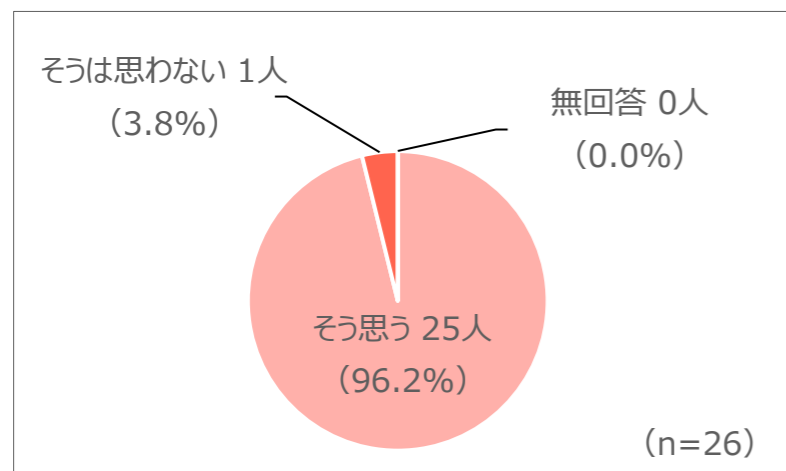
今回がぷらすメンバーから出された初めての意見テーマという事、これまでの意見広場と違い、身近な内容だったため、イメージがしやすく、有意義なものになりました。

市や地域がよくなって、子どもたちが住みやすく安心できるような場になればいいなと思いながら参加できたし、交流することができたから。

子育て中の当事者から意見を聞く機会があったので学びになりました。特にこども食堂についてはほぼ知らないことばかりでした。

他のメンバーの実体験をもとにお話を伺うことができたため。また、今回は海外からの参加もあり国内外の視点から意見交換をすることができたため。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

話したいことはたくさんあったが、環境の違う人にどう簡潔に伝えたらいいか、全然わからなかった。

時間の制限があったので、もっと他の人の話を聞きたい気持ちと自分の意見を聞いてほしい届けてほしいという気持ちの狭間にいました。

もっと子育て世代の意見をたくさん聞いて欲しいです。

そのほか、今日の「いけんひろば」について、気づいたことや感想を教えてください。

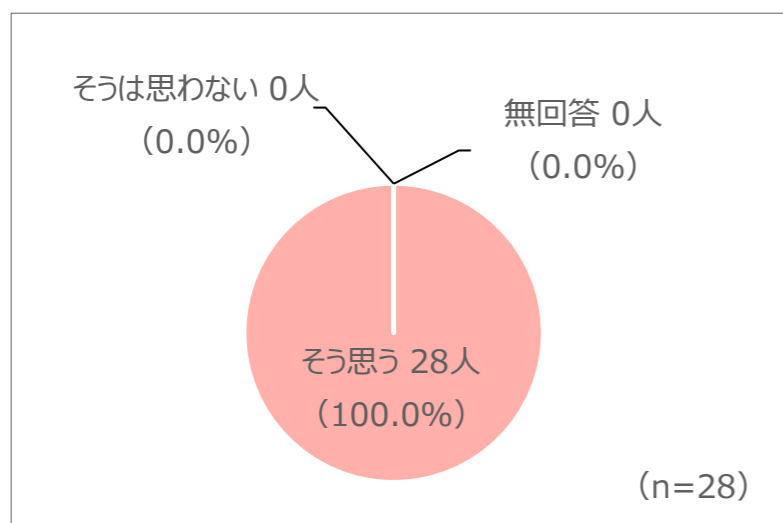
言いたいことがすべていえて、よかったです。これで、自分が大人になったとき、生活しやすくなったらいいと思います。

国に直接意見を届ける場をいただけて嬉しかったです。国にも言い分はあると思うので、いつかお互いの意見をぶつける場もあればいいなと思います。

実際に子育てしている方のリアルな声も参考になりましたし、高校生でもこれだけしっかり考えていらっしゃる方がいるのなら、まだまだ日本も捨てたものじゃないなと思いました。

【対面】参加者アンケート（一部を抜粋して掲載）

「いけんひろば」に参加してよかったですか？



「そう思う」の理由（自由回答）

参加しやすい、話しあいやすい環境だったため、程良い緊張感を参加できたから

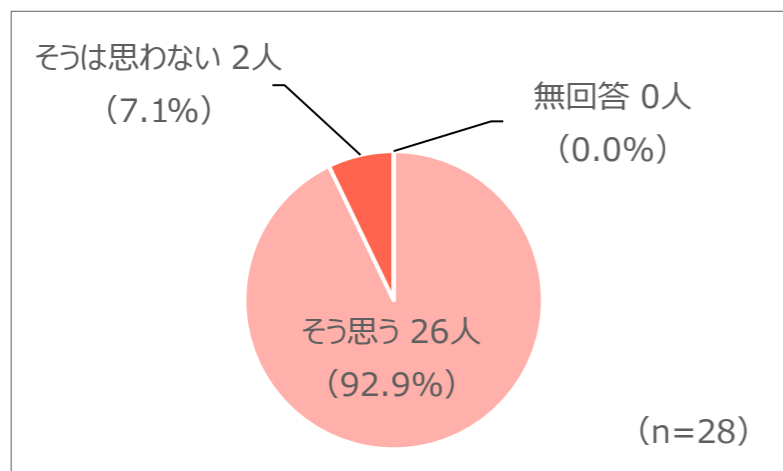
自分の地方以外の課題が分かり子供の安全について考えたいと思った。

まんぞくにいろいろとはなし散らしました。

同年代であっても、実感していることが異なることを知れたから。

全国から集まった皆さんと色々な意見交換ができ、世界が広がりました。

今日の「いけんひろば」では、自分が話したいと思ったことを言えましたか？



話したいと思ったことを言うのがむずかしかった理由や、言い足りなかったこと（自由回答）

質問が限定的な内容だった。
時間が限られていた。
自分よりもっと大変な境遇の人の意見も伝えられたら良かった。

子育ては充実してきているが、産むきっかけは弱いまだと思う。
メディア対策をしないとこども家庭庁の発信が信頼性が弱くなる一方だと思う。



そのほか、今日の「いけんひろば」について、気づいたことや感想を教えてください。

少しみじかかったかな・・・
散らばったものを集める時間が欲しかった・・・

途中に休憩を入れたので、リフレッシュになった。

会場はすごく明るく開放的で議論の雰囲気も明るかった。
時間もちょうどよかった。

1班しかいない空間でじっくり話せた一方で少しさみしかった。